

令和8年度 第1回 直江津区地域協議会

次 第

日時：令和8年4月14日（火）午後6時30分～

会場：レインボーセンター 3階 第三会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【自主的な審議】

- ・五智地区の協議テーマについて

【協議事項】

- ・地域協議会だよりの編集委員について

4 そ の 他

- ・次回地域協議会

令和8年 月 日（ ）午後6時30分～ レインボーセンター

5 閉 会

自主的な審議「五智地区の協議テーマについて」

【これまでのふりかえり】

R8.2.17(第11回会議)「今後の協議テーマを4項目から確認」

項目…五智公園に関すること〔五智公園への市及び市民の注目度が低い〕

方針…五智応援を含めた五智エリア全体としての在り方を考えていく

R8.3.11(第12回会議)「検討のスタート・フリー発言」

検討の方向性…エリア全体の課題を抽出。足りない部分に注力する。しなければいけないことを考える

フリー発言(委員の思っていること) ※以下、発言をキーワード別に整理

『五智公園を育てる会』

基礎情報:活動は環境保全。地域独自
予算の対象事業。会員の高齢
化がみられる

- ・同会の話聞き、今後の協議の検討
点を整理してはどうか?



『五智公園との関わり方、特徴』

- ・市民の憩いの場である《町内会のイ
ベントや、日常の散策コース》
- ・高田観桜会と異なる見頃を迎えるハ
重桜を活かしてはどうか
- ・情報発信が無く、様子が見えない



『地域の特徴、活かし方』

- ・小京都の趣がある。
- ・人口が減少傾向
- ・市民向けツアーを実施してはどうか
- ・公園や人が通う場所にはお店が必要



『歴史の里会館、神社仏閣など』

- ・様々な素材(歴史、海山、記念史跡
等)や魅力がある
- ・観光施設か地元施設か、中途半端
- ・設備が住民や観光客にも不便では?



『進め方』

- ・観光と地元利用のどちらを考えるか?
- ・テーマを決めて毎回検討を
- ・7次総の項目で五智地区を考えてはどうか

令和8年度 直江津区・自主的な審議の進め方(案)

テーマ 「五智地区の協議テーマについて」

1 進め方のイメージ 「知る(学ぶ・聞く)」⇒「整理する」⇒「検討する」

2 進め方(案)

A 案 「五智地区の住民と訪問者の声」をベースにまとめる 目標:「地区の課題や必要なもの」を地域、市民団体等に提案する	B 案 「地域活性化の方向性」をベースにまとめる 目標:「R9年度独自予算事業への提案」を目指す
【知る】 4月 ・市第7次総合計画の概要。項目の確認 5-7月 ・地域団体等の活動やイベント、課題を知る(参加、見学など) ・利用者、訪問者の声を『現地』で聞く(ヒアリング、アンケート) 対象:五智公園の散策者、交通公園の利用者、歴史の里会館や史跡訪問者 ・地域の各年代層の声を聴く(ヒアリング、アンケート) 対象:子育て世代(PTA、子供会)、学生などから 【整理する】 8月 ・ワークショップ①『多様な声(5.6.7月)を考える』 内容:団体、利用者・訪問者、各世代の声を分析する 第3四半期 ・ワークショップ②③『五智地区を、5つの構成要素(地域活性化の方向性)から見る』 内容:8月WSの「多様な声」をふまえ、構成要素に関連する「課題キーワード」「取組の整理」を整理する 【検討する】 第3、4四半期 ・ワークショップ④、⑤『地区の課題を整理、今後の方向性を考える』 ※進行状況に応じて回数増減あり 内容:五智エリア全体の課題を抽出。足りない部分、しなければいけないことを整理する	【知る】 4月 ・市第7次総合計画の概要。項目の確認 ・市民等の声を聞く手法の検討、聞き取りの項目づくり 5月 ・地域団体等の活動やイベント、課題を知る ・利用者、訪問者の声を『現地』で聞く(ヒアリング、アンケート) 対象:五智公園の散策者、交通公園の利用者、歴史の里会館や史跡訪問者 ・地域の各年代層の声を聞く(主にアンケート) 対象:子育て世代(PTA、子供会)、学生などから 6月 ・「多様な声」のとりまとめ及び協議 【整理する】 7月 ・ワークショップ『五智地区を、5つの構成要素(地域活性化の方向性)から見る』 内容:構成要素に関連する「課題キーワード」「取組の整理」のほか、「行うべきこと」を整理する 【検討する】 8月 ・「誰が、何を、どのように」のあらすじを考える 内容:市民団体との共働イメージを整理する 9月 ・今後の独自予算(令和9年度実施)の取り組みを検討する 内容:何らかの取組を行う方向で、次年度までの詳細を検討 ※令和9年度の方針によって、スケジュールが長くなる可能性あり